



ソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチ

- [ソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチについて \(1 ページ\)](#)
- [ソフトウェアメンテナンスのアップグレードパッチに関する注意事項と制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [GUIを使用したCisco APICソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストール \(2 ページ\)](#)
- [GUIを使用したスイッチソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストール \(3 ページ\)](#)
- [GUIを使用したCisco APICソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのアンインストール \(4 ページ\)](#)
- [GUIを使用したスイッチソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのアンインストール \(5 ページ\)](#)
- [REST APIを使用したCisco APICソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストールまたはアンインストール \(6 ページ\)](#)
- [REST APIを使用したスイッチソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストールまたはアンインストール \(7 ページ\)](#)

ソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチについて

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.2(1) 以降では、特定の不具合に対する修正を含むソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) パッチをインストールできます。SMU パッチは、従来のパッチリリースよりもはるかに迅速にリリースできるため、特定の問題をタイムリーに解決できます。SMU パッチは、Cisco.com からダウンロードできます。通常、パッチが解決する問題を簡単に識別できるように、解決した障害の ID 番号をファイル名に含めます。SMU パッチには新しい機能は含まれていません。

SMU パッチは、Cisco APIC および Cisco ACI モードスイッチで使用できます。Cisco APIC にパッチを適用すると、パッチはクラスタ内のすべての Cisco APIC にインストールされ、Cisco

APIC はパッチのインストールを完了するために自動的にリブートされます。スイッチにパッチを適用する場合は、インストールを完了するためにスイッチをリブートする必要がありますが、複数の SMU パッチのインストールを開始するまでリブートを遅らせることができます。

必要に応じて、SMU パッチをアンインストールできます。パッチのインストールと同様に、Cisco APIC またはスイッチを再起動してアンインストールを完了する必要があります。

ソフトウェアメンテナンスのアップグレードパッチに関する注意事項と制限事項

ソフトウェアメンテナンス アップグレード (SMU) パッチには、次のガイドラインと制限事項が適用されます。

- **グレースフル アップグレード機能**は、SMU パッチのインストールおよびアンインストールではサポートされません。
- **スイッチ検出時の自動ファームウェア更新機能**は、SMU パッチのインストールまたはアンインストールの更新グループに属するスイッチでは実行されません。
- 5.2(8) より前のリリース、および 6.0(1) および 6.0(2) リリースでは、SMU パッチで Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) GUI を変更することはできません。5.2(8) および 6.0(3) リリース以降、SMU パッチは Cisco APIC GUI を変更できます。
- スwitchのソフトウェアをアップグレードまたはダウングレードすると、そのスイッチに以前にインストールした SMU パッチが削除されます。

GUI を使用した Cisco APIC ソフトウェアメンテナンス アップグレードパッチのインストール

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.2(1) 以降では、次の手順を使用して、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にソフトウェアメンテナンス アップグレード (SMU) パッチをインストールできます。

手順

- ステップ 1** patch to the ().SMU パッチに対応するファームウェア イメージを Cisco APIC に追加します。パッチは他のファームウェア イメージとともに一覧に記載されます (SMU パッチおよびその他)。

手順については、[GUI を使用した APIC リリース 5.1 以降でのアップグレードまたは、ダウングレード](#)を参照してください。

ステップ2 コントローラファームウェア更新をセットアップします。[バージョンの選択 (Version Selection)] 画面で、[更新タイプ (Update Type)] の場合 [ソフトウェアメンテナンスアップグレード (インストール) (Software Maintenance Upgrade (Install))] を選択し、[ファームウェアの選択 (Select Firmware)] セクションの SMU パッチを選択します。

手順については、[GUIを使用した APIC リリース 5.1 以降でのアップグレードまたは、ダウングレード](#)を参照してください。

GUIを使用したスイッチソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストール

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.2(1) 以降では、次の手順を使用して、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) モードスイッチにソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) パッチをインストールできます。

SMUパッチのインストールまたはアンインストールでは、通常のファームウェアアップグレードと同じ更新グループが使用されます。1つのノードは1つの更新グループにのみ属することが可能なため、SMUパッチを特定のノードに適用するとき、既存のグループからそのノードを削除し、ノード専用の新しいグループを作成することで、他のノードが影響を受けなくなるとします。今後ファブリック全体の定期的なファームウェアアップグレードを実行する必要があるとき、SMUパッチインストールに使用される専用更新グループを削除し、元のグループのいずれかにノードを追加できます。既存グループのすべてのノードにSMUパッチが必要な場合、新しい更新グループを作成することなく、同じ更新グループを使用することができます。

手順

ステップ1 SMUパッチに対応するファームウェアイメージを Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) に追加します。Cisco APIC には、パッチが他のファームウェアイメージとともに記載されます (SMUパッチおよびその他)。

Cisco APIC リリース 6.0 (2) 内以降では、32ビットと64ビットSMUイメージをCisco APICにダウンロードします。一つのイメージしかダウンロードしない場合、アップグレード中にエラーが生じることがあります。

手順については、[GUIを使用した APIC リリース 5.1 以降でのアップグレードまたは、ダウングレード](#)を参照してください。

ステップ2 ノードファームウェアの更新をセットアップします。[バージョンの選択 (Version Selection)] 画面で、[更新タイプ (Update Type)] の場合 [ソフトウェアメンテナンスアップグレード (インストール) (Software Maintenance Upgrade (Install))] を選択し、[ファームウェアの選択 (Select Firmware)] セクションの SMU パッチを選択します。

手順については、GUIを使用したAPICリリース5.1以降でのアップグレードまたは、ダウングレードを参照してください。

[確認 (Confirmation)] 画面で**[ダウンロードの開始 (Begin Download)]**をクリックすると、選択したスイッチにパッチがダウンロードされます。**[作業 (Work)]** ペインの**[ファームウェアの更新 (Firmware Updates)]** タブが表示されます。

ステップ3 **[作業 (Work)]** ペインで、作成したアップグレードグループをクリックします。

[ノードファームウェアの更新 (Node Firmware Update)] ダイアログに、アップグレードグループの情報が表示されます。

ステップ4 スwitchのステータスが**[インストールの準備完了 (Ready to Install)]**になったら、**[アクション (Actions)]** をクリックします。

6.0(2)リリースより前あるいは、6.0(2)リリース以降で**[スイッチ再起動タイプ (Switch Restart Type)]** プロパティが**[リロード (Reload)]** に設定されている場合は、次のいずれかのアクションを選択します：

- **[インストールおよびリロード (Install and Reload)]** : SMUパッチのインストール後にスイッチがリブートされます。1つのSMUパッチのみをインストールする場合、または複数のパッチの最終パッチをインストールする場合は、このアクションを選択します。
- **[インストールおよびリロードのスキップ (Install and Skip Reload)]** : SMUパッチのインストール後、スイッチは再起動されません。複数のSMUパッチをインストールし、このパッチが最終パッチでない場合は、このアクションを選択します。この場合、追加のパッチごとにこの手順全体を繰り返し、最後のパッチをインストールするまで**[インストールおよびリロードのスキップ (Install and Skip Reload)]** を選択し続けます。最後のパッチとして、**[インストールおよびリロード (Install and Reload)]** を選択します。必要に応じて、**[インストールおよびリロードのスキップ (Install and Skip Reload)]** を選択するかパッチのインストール後にスイッチを手動でリブートできます。

6.0 (2) リリース以降で、**[スイッチの再起動タイプ (Switch Reboot Type)]** というプロパティが**[再起動 (Restart)]** に設定されている場合、**[インストール (Install)]** を選択します。スイッチを再起動せずにスイッチに適用できるSMUの場合、**[インストール (Install)]** を選択すると、スイッチが動作している間にSMUがインストールされます。SMUのインストールがスイッチを通過するトラフィックに影響を与えるかどうかは、SMUが適用する修正によって異なります。

GUIを使用したCisco APICソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのアンインストール

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) 5.2(1)リリース以降では、次の手順を使用して、Cisco APICからソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) パッチをアンインストールできます。

手順

コントローラファームウェア更新をセットアップします。[バージョンの選択 (Version Selection)] 画面で、[更新タイプ (Update Type)] の場合 [ソフトウェアメンテナンスアップグレード (インストール) (Software Maintenance Upgrade (Uninstall))] を選択し、アンインストールのため [ファームウェアの選択 (Select Firmware)] セクションの SMU パッチを選択します。

手順については、[GUIを使用した APIC リリース 5.1 以降でのアップグレードまたは、ダウングレード](#)を参照してください。この手順はアップグレードを目的としていますが、パッチのアンインストールでは、ここで指定されている場合を除き、同じ手順を使用します。

GUIを使用したスイッチソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのアンインストール

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.2(1) 以降では、次の手順を使用して、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) モードスイッチからソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) パッチをアンインストールできます。アンインストールのプロセスには、アップグレードグループを作成し、そのグループを使用して SMU パッチをアンインストールすることが含まれます。

SMU パッチのインストールまたはアンインストールでは、通常ファームウェアアップグレードと同じ更新グループが使用されます。1 個のノードは 1 つの更新グループにのみ属することが可能なため、SMU パッチを特定のノードに適用するとき、既存のグループからそのノードを削除し、ノード専用の新しいグループを作成することで、他のノードが影響を受けません。今後ファブリック全体の定期的なファームウェアアップグレードを実行する必要があるとき、SMU パッチインストールに使用される専用更新グループを削除し、元のグループのいずれかにノードを追加できます。既存グループのすべてのノードに SMU パッチが必要な場合、新しい更新グループを作成することなく、同じ更新グループを使用することができます。

手順

- ステップ 1** ノードファームウェアの更新を設定します。[バージョンの選択 (Version Selection)] 画面で、[更新タイプ (Update Type)] の場合 [ソフトウェアメンテナンスアップグレード (インストール) (Software Maintenance Upgrade (Uninstall))] を選択し、アンインストールのため [ファームウェアの選択 (Select Firmware)] セクションの SMU パッチを選択します。

手順については、[GUIを使用した APIC リリース 5.1 以降でのアップグレードまたは、ダウングレード](#)を参照してください。パッチをアンインストールする場合でも、手順はアップグレード手順とほぼ同じです。

[確認 (Confirmation)] 画面が表示されたら、次の手順に進みます。

ステップ 2 表示される情報が正しい場合は、[アンインストールとリロードをスキップ (Uninstall and Skip Reload)] または [アンインストールの開始 (Begin Uninstall)] をクリックします。それ以外の場合は、前の画面のいずれかに戻り、必要に応じて設定を変更します。

- [アンインストールおよびリロードをスキップ (Uninstall and Skip Reload)] : SMU パッチがアンインストールされた後、スイッチはリブートされません。複数の SMU パッチをアンインストールする場合にこのアクションを選択します。このパッチは最終パッチではありません。この場合、追加のパッチごとにこの手順全体を繰り返し、最後のパッチをアンインストールするまで、[アンインストールおよびリロードのスキップ (Uninstall and Skip Reload)] を選択し続けます。最後のパッチとして、[アンインストールの開始 (Begin Uninstall)] を選択します。必要に応じて、このアクションを選択し、最終パッチがアンインストールされた後にスイッチを手動でリブートできます。
- アンインストールの開始 : SMU パッチがアンインストールされた後、スイッチがリブートされます。1つの SMU パッチのみをアンインストールする場合、または複数のパッチの最終パッチをアンインストールする場合は、このアクションを選択します。

REST API を使用した Cisco APIC ソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストールまたはアンインストール

次の REST API XML の例では、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) パッチをインストールし、インストールの完了後に Cisco APIC をリブートします。

```
<polUni>
  <ctrlrInst>
    <firmwareCtrlrFwP
      version="apicpatch-CSCab12345-9.0.0-5.2.0.155d.x86_64">
    </firmwareCtrlrFwP>
    <maintCtrlrMaintP
      adminState="up" smuOperation="smuInstall" adminSt="triggered" >
    </maintCtrlrMaintP>
  </ctrlrInst>
</polUni>
```

次のテーブルでは、SMU パッチ固有の要素とパラメータを説明します。

エレメント	パラメータ	説明
firmwareCtrlrFwP	version	SMU パッチのファイル名を指定します。

エレメント	パラメータ	説明
maintCtrlrMaintP	smuOperation	<p>パッチをインストールするかアンインストールするか指定します。設定可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • smuInstall：パッチをインストールします。 • smuUninstall：パッチをアンインストールします。

REST API を使用したスイッチソフトウェアメンテナンスアップグレードパッチのインストールまたはアンインストール

次の REST API XML の例では、スイッチにソフトウェアメンテナンスアップグレード (SMU) パッチをインストールし、インストールの完了後にスイッチをリブートします。

```
<polUni>
  <fabricInst>
    <maintMaintP
      version="n9000-patch-CSCsysinfo12-15.2.0.151-S1.1.1.x86_64"
      smuOperation="smuInstall"
      smuOperationFlags="smuReloadImmediate"
      name="Leaf202"
      adminSt="triggered">
    </maintMaintP>

    <maintMaintGrp name="Leaf202">
      <fabricNodeBlk name="blk202" from_"202" to_"202">
      </fabricNodeBlk>
      <maintRsMgrpp tnMaintMaintPName="Leaf202">
      </maintRsMgrpp>
    </maintMaintGrp>
  </fabricInst>
</polUni>
```

次のテーブルでは、SMU パッチ固有の要素とパラメータを説明します。

エレメント	パラメータ	説明
maintMaintP	version	SMU パッチのファイル名を指定します。

エレメント	パラメータ	説明
maintMaintP	smuOperation	<p>パッチをインストールするかアンインストールするか指定します。設定可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• smuInstall : パッチをインストールします。• smuUninstall : パッチをアンインストールします。

エレメント	パラメータ	説明
maintMaintP	smuOperationFlags	<p>パッチのインストール後にスイッチをリブートするかどうかを指定します。設定可能な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • smuReloadImmediate : SMU パッチのインストール後にスイッチがリブートされます。1つのSMUパッチのみをインストールする場合、または複数のパッチの最終パッチをインストールする場合は、この値を指定します。 • smuReloadSkip : スイッチはSMUパッチのインストール後に再起動されません。複数のSMUパッチをインストールし、このパッチが最終パッチでない場合は、この値を指定します。この場合、追加のパッチごとに適切なXMLをポストし、最終パッチをインストールするまでsmuReloadSkipを指定し続けます。最後のパッチには、smuReloadImmediateを指定します。必要に応じて、smuReloadSkipを指定し、パッチのインストール後にスイッチを手動でリブートできます。
maintMaintP	name	メンテナンスグループの名前を指定します。
fabricNodeBlk	from_ および to_	パッチをインストールまたはアンインストールするスイッチノードIDの範囲を指定します。

エレメント	パラメータ	説明
maintRsMgrpp	tnMaintMaintPName	メンテナンスグループの名前を指定します。値は、maintMaintP 要素の name パラメータの値と一致する必要があります。

表で指定されているパラメータ値の一部を変更することで、パッチをインストールまたはアンインストールするかどうかを指定でき、パッチのインストールまたはアンインストール後にスイッチをリブートしないように指定できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。